

令和7年度 第2回狭山市立博物館協議会 会議録

開催日時 令和7年11月25日(火)
午後3時00分から午後4時20分まで

開催場所 狭山市立博物館 研修講義室

出席者 千田会長、北村副会長、加藤委員、齋藤委員、土屋委員、西口委員、福岡委員
森井委員

欠席者 小泉委員、横山委員

事務局 滝嶋教育長、五十嵐生涯学習部長、石井社会教育課長、上田主査、中津主事
尾澤博物館長、三谷博物館副館長、アクティオ(株) 入佐担当
東急コミュニティー渡辺担当

傍聴者数 0名

※協議会前に委員に辞令の交付と正副会長の選出を行った。

議 題

1 令和7年度事業計画及び今後の予定について

会議資料に基づき、令和7年度に実施した企画展・主催事業及び今後の予定について博物館長より説明し、質疑応答後、承認された。

質疑・意見等

委員 登録博物館となったことで、どのような点が変わるのか。

館長 重要文化財等を含め、取り扱うことの出来る展示資料の範囲が広がります。併せて、年報等の執筆、館長・学芸員等の配置についても、法令に基づく義務が生じる等、運営面においても様々な点が変更となります。

会長 夏期企画展の関連イベント「狭山市にいてほしいコビト」は誰が選び、どのような作品が入賞したのか。

館長 1,200通以上の応募の中から、当館職員が約80作品を選出し、最終的に『こびとづかん』作者のなばた氏に10作品を選定していただきました。現在は、当館ホームページ上で公開しております。

会長 館長ブログはどこから閲覧できるのか。

館長 当館ホームページの「ご利用案内」のページから閲覧することができます。

2 令和8年度企画展（案）について

会議資料に基づき、令和8年度に予定している企画展・主催事業について博物館長より説明し、質疑応答後、承認された。

質疑・意見等

委員 収蔵されている化石資料を活用し、「化石の日」や「地質の日」に関連した企画展やイベントを実施してはいかがか。

館長 当館は総合博物館として幅広い分野を扱う必要があると考えているため、今後の企画展等を検討する際の参考といたします。

会長 春期・夏期企画展において想定入館者数を1万人以上としているが、これまでに同様の設定はあったのか。

館長 春期及び夏期は来館者が多い傾向にあることから目玉となる企画展を実施しており、想定入館者数は例年多めに設定しています。

会長 夏期企画展の内容として「ミニカー展」とあるが、具体的にはどのような内容を考えているのか。

館長 ミニカーの展示については、具体的な内容は現時点では未定です。

3 その他

狭山市立博物館の常設展示室の展示替えについて事務局より説明し、意見を聴取した。

意見等

会長 予備知識がない状態で入館すると導線がわかりにくく、時代別に展示されていることも認識できなかった。床の色分け等により時代を判別できるようにする工夫があるとよいと感じた。

副会長 入口が中央の扉でないことを初めて知った。また、床に入間川の図が描かれていることも認識していなかった。

館長 導線については、常設展示室内のマップを作成するなど工夫しています。なお、以前開放していた中央の扉は本来防火扉であるため、現在は閉鎖しています。

委員 中央の防火扉は非常時に開くようになっているか。

館長 展示物等は設置しておらず、非常時には開くようになっています。

※閉会后、常設展示室の視察を行った。